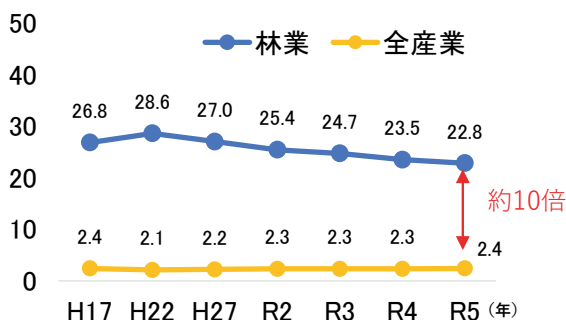


林業技能検定の創設について

1 はじめに

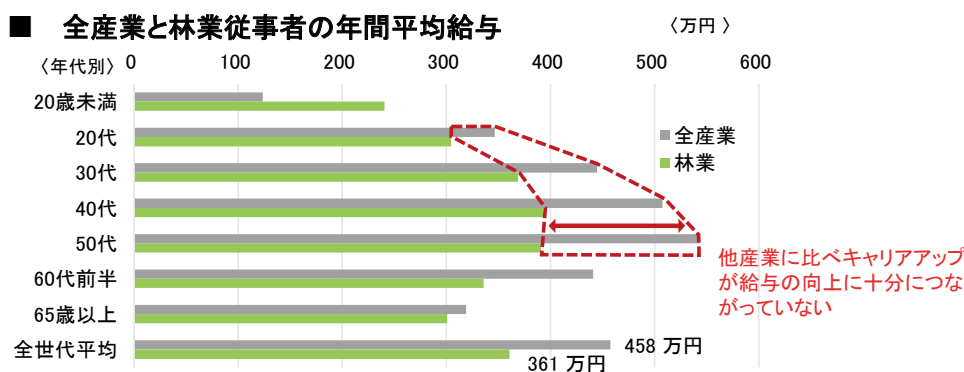
我が国の林業労働力の動向をみると、長期的に減少傾向にあった林業従事者数は平成27年から令和2年にかけて横ばいとなっています。林業生産活動の継続のためには、引き続き林業従事者の確保・育成が必要になっており、それに向けては、他産業に比べて高い割合で発生している労働災害の撲滅や他産業並みの所得の実現などに取り組むことが重要となっています。

労働災害の発生状況(死傷年千人率)



資料：厚生労働省「業種別死傷年千人率」
(労働者千人当たり1年間に発生する死傷者数(休業4日以上))

全産業と林業従事者の年間平均給与



資料：民間給与実態統計調査(R4)、林野庁業務資料

このような中で、一般社団法人林業技能向上センター(以下「林業技能向上セン

ター」という。)により、林業従事者の安全作業に係る技能の向上、就業環境の改善や社会的・経済的な地位の向上等に資する林業技能検定の実施に関する取組が進められていますので、その概要について紹介します。

2 技能検定とは

技能検定は、働く人々の有する技能を一定の基準により検定し、国として証明する国家検定制度です。技能に対する社会一般の評価を高め、働く人々の技能と地位の向上を図ることを目的として、132職種(令和6年10月現在。例えば、「機械保全」とび「等」について行われています(このうち、厚生労働大臣の指定を受けた指定試験機関が実施する21職種の一つに「林業」が位置付けられました)。

技能検定試験は、職種ごとに学科試験と実技試験により実施され、両方の試験に合格した者は「技能士」と名乗ることができます(名称独占のため、技能検定の合格者以外は「技能士」と名乗ることができません)。これにより林業従事者の技能が見える化されることとなり、合格者の社会的評価が高まり、地位向上やキャ

リアップ、ひいては処遇の改善につながることを期待されます。

3 林業の技能検定について

林業技能向上センターは、林業技能検定の創設に向け、林業技能に精通する方や技能試験を専門とする有識者の方々の意見を聴きながら、検定試験内容の整理や実技試験評価者の育成を進めるとともに、実際に林業の現場で働く方を対象に本番と同じ形式で試行的な試験を行い、その結果をもとにした試験内容の精査を進めてきました。

林野庁は、補助事業により、令和2年度から継続して、試験における評価者の育成や試行的な試験の実施に対する支援を進めてきたところです。

こうした取組が着実に進み、5年にわたる検討・試行の結果、令和6年8月29日に厚生労働省により関係省令が改正され、晴れて林業の技能検定が創設されました。

同年9月には林業技能向上センターにより令和6年度の試験の実施予定が公表され、その中で、検定を実施する等級区分(1〜3級)、試験の方法(学科試験及び実技試験)、試験に係る日程や試験実



2級実技試行試験（受け口・追い口作成）



1級実技試行試験（受け口・追い口作成（傾斜木））

施場所などが明らかにされています。最初の検定試験は令和7年1月から3月にかけて愛媛県及び熊本県で実施することとなっています。令和7年度以降も、各地域で順次検定試験を実施していく予定です。

林業技能検定における試験の実施方法

(1) 学科試験

等級	設問	試験時間	配点	合格基準
1級	真偽法25問及び四肢択一法25問	60分	100点	65点
2級	真偽法25問及び四肢択一法25問	60分	100点	65点
3級	真偽法30問	30分	100点	65点

(2) 実技試験

実技試験は、実技作業試験と実技筆記試験の両方の合格基準を満たしている必要があります（3級は実技作業試験のみ）。

ア 実技作業試験（製作等作業試験）

等級	課題	標準時間	打切時間	課題ごとの評価内容			全体	
				評価内容	配点	合格基準	配点	合格基準
1級	課題1 受け口・追い口 作成作業	7分	10分	安全	50点	20点	100点	60点
				精度	50点	20点		
2級	課題1 受け口・追い口 作成作業	5分	7分	安全	50点	20点	100点	60点
				精度	50点	20点		
3級	課題1 チェーンソー 組立作業	3分	4分	安全	20点	8点	100点	60点
	課題2 チェーンソー 暖機運転	—	7分	安全	20点	8点		
	課題3 丸太輪切り 作成作業	3分	4分	安全	30点	12点		
				精度	30点	12点		

※各級とも課題ごとの評価内容及び全体の両方の合格基準を満たしていることが必要。

イ 実技筆記試験（判断等試験）

等級	設問	試験時間	配点	合格基準
1級	多肢選択法5問（植付、伐倒、造材、器具の整備に関する問題）	20分	100点	60点
2級	多肢選択法5問（植付、伐倒、造材、器具の整備に関する問題）	20分	100点	60点

※（一社）林業技能向上センターによる「2024年度林業技能検定（1級、2級、3級）実施公示」の内容を抜粋したものです。



3級実技試行試験（丸太輪切り）



学科試行試験

林業技能向上センターWebサイト
<https://ringyou-gino.org>



ただだけばと思ひます。

令和6年度の検定試験については、11月11日（月）までが受検申請受付期間となっていますので、是非、林業技能向上センターのWebサイトを覗いてみていただければと思ひます。

技能検定は、前述のとおり働く人々の有する技能を一定の基準により検定するものです。こうした検定制度が林業に従事する方々の間に広く普及することで、技能の向上が図られ、林業作業の質が確保されるだけでなく、林業における労働安全の確保にもつながることが期待されます。また、この検定に合格して技能士となった方々が、それぞれの職場において適切な評価を受け、処遇の改善などにもつながることが重要と考えており、林野庁としても、引き続きこうした取組への支援を続けていきたいと考えています。

4 おわりに